

平成24年度大分県基礎・基本定着状況調査ならびに

平成24年度全国学力学習状況調査の結果と分析について

平成24年11月26日
由布市教育委員会

本年度、4月14日に実施された「平成24年度大分県基礎・基本の定着状況調査」ならびに「平成24年度全国学力学習状況調査」の結果についてお知らせいたします。

1 学力調査結果の分析

(1) 小学校における学力の状況

小学校では、第5学年、第6学年で、国語・算数・理科の調査が実施されました。

5年生では、国語・算数で「目標値^{※注1}」を超えました。＜図1参照＞

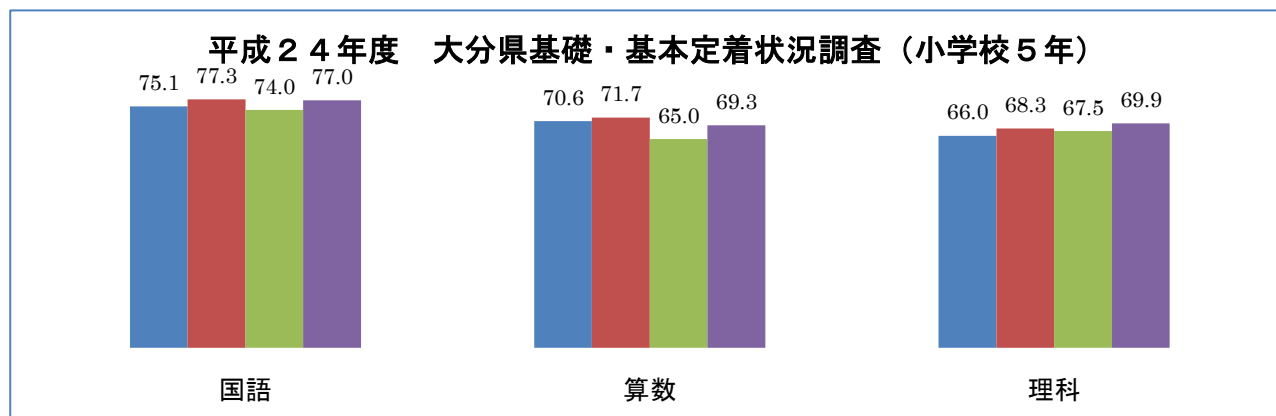
6年生では、算数Aと理科Aが全国を越えました。＜図2参照＞

市では、算数に特化して学力の改善を図っており、その成果が出たものと考えます。

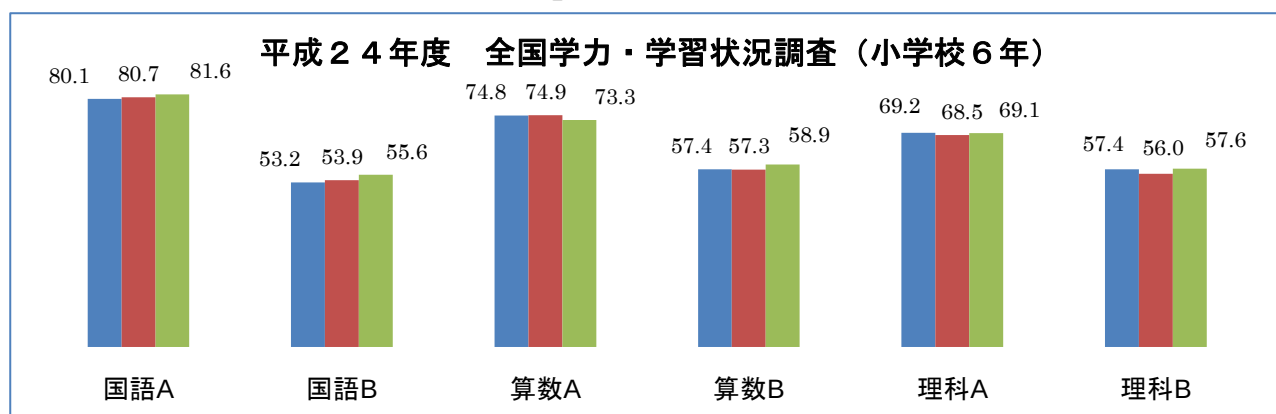
※注1 学習指導要領に示された内容について、正答できることを期待した児童生徒の割合。

多くのデータを基に、テスト作成業者が算出したもの。

＜図1＞ 教科別正答率「小学校5年」 ※棒グラフは左から由布市、県、全国、目標値



＜図2＞ 教科別正答率「小学校6年」 ※棒グラフは左から由布市、県、全国



（２）中学校における学力の状況

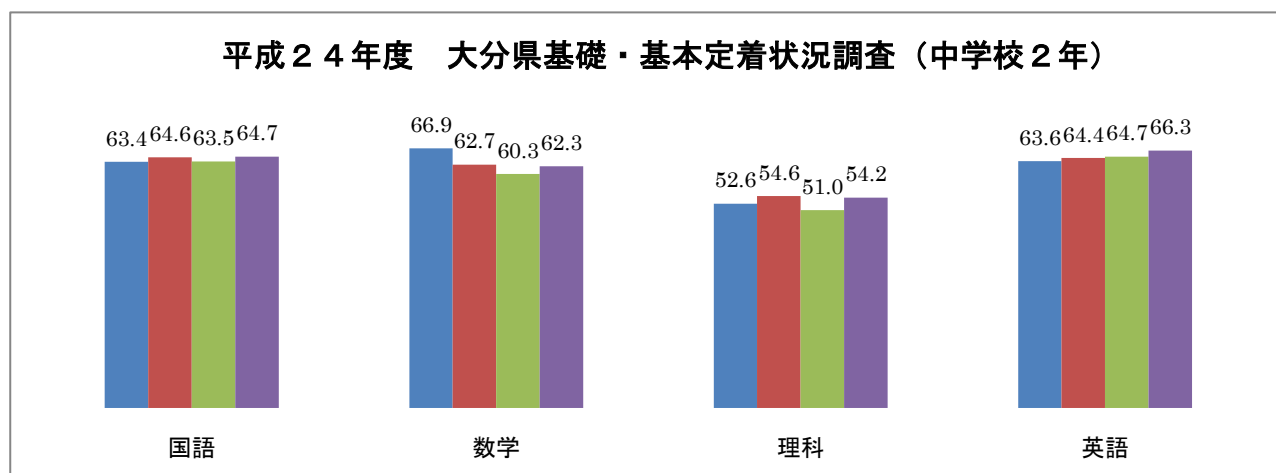
中学校では、第２学年で国語・数学・理科・英語、第３学年で、国語・数学・理科の調査が実施されました。

２年生では、数学・理科で「目標値^{※注１}」を超えました。＜図３参照＞

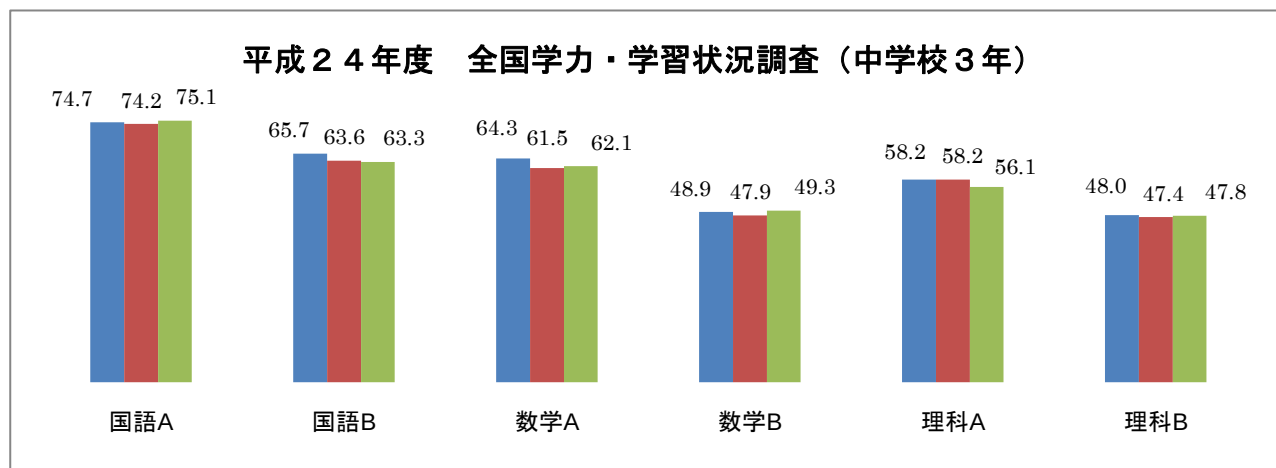
３年生では、国語Ｂ・数学Ａと理科Ａ・Ｂで全国を越えました。＜図４参照＞

３校で共同研究や共通テストの実施を行っており、その成果が出たものと考えます。

＜図３＞ 教科別正答率「中学校」 ※棒グラフは左から由布市、県、全国、目標値



＜図４＞ 教科別正答率「中学校３年」 ※棒グラフは左から由布市、県、全国



（３）今後の課題

小学校も中学校も、子どもが苦手意識を持っている点が、読解力や活用力を要する問題であることがはっきりしています。（主に全国学力学習状況調査のＢ問題）

読解力とは、文章を読んで書かれている内容を正確に読み取ったり、グラフや表からわかることを分析したりする力であり、また活用力とは、今まで学習したことを活かして、課題の解決を行う力になります。例えば、国語で学習したことを活かして、新聞づくりを行うといった事などです。

今まで、基礎・基本に力を入れてきましたが、今後は、読解力や活用力を育むことにも力を入れていきます。

2 意識調査結果の分析

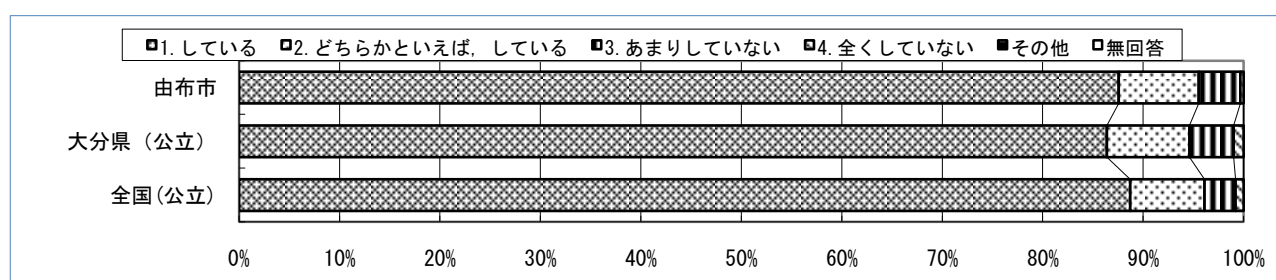
(1) 全国学力学習状況調査の児童・生徒質問紙からわかる状況

全国学力学習状況調査では、児童・生徒に様々な質問をしています。その様子からも学習習慣や生活習慣が推測されます。注目すべき点を紹介することで、保護者や地域の皆様にも知っていただき、よりよい学習習慣や生活習慣の形成に役立てたいと考えています。

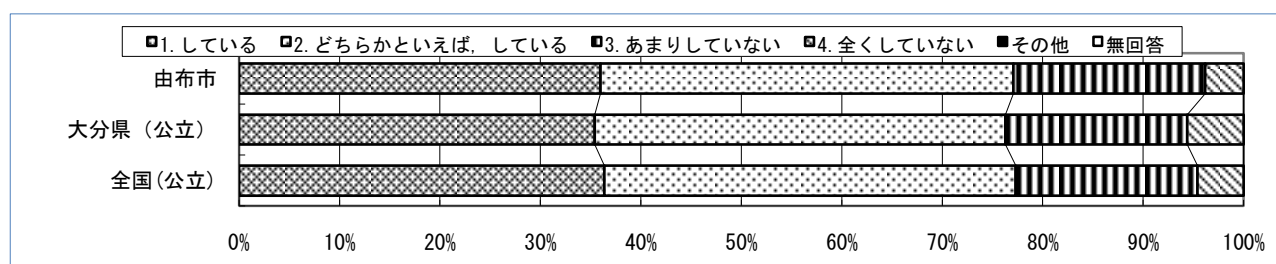
「小学校における学習習慣・生活習慣の状況」 小学校6年

① 基本的な生活習慣について

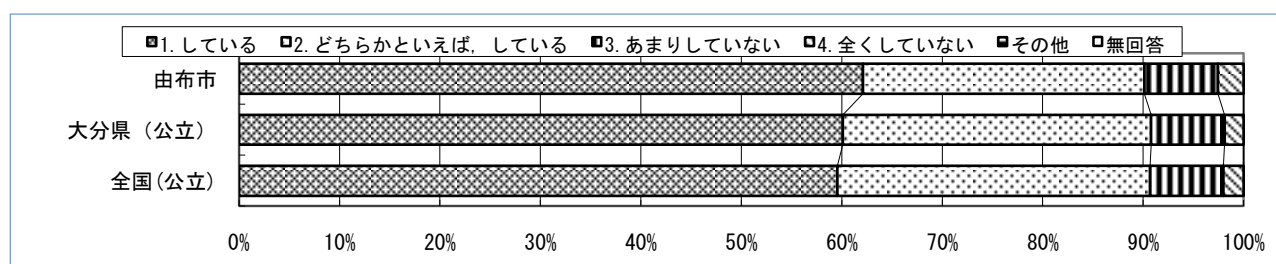
Q 1 朝食を毎日食べていますか



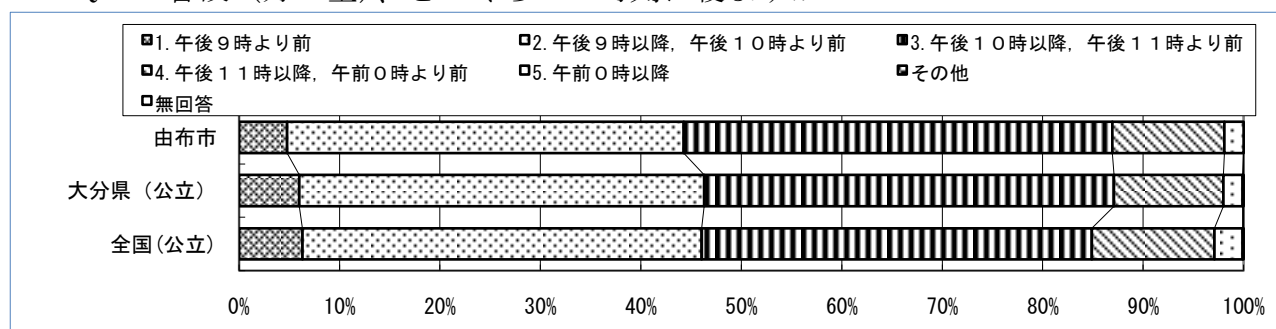
Q 2 毎日同じくらいの時刻に寝ていますか



Q 3 毎日同じくらいの時刻に起きていますか



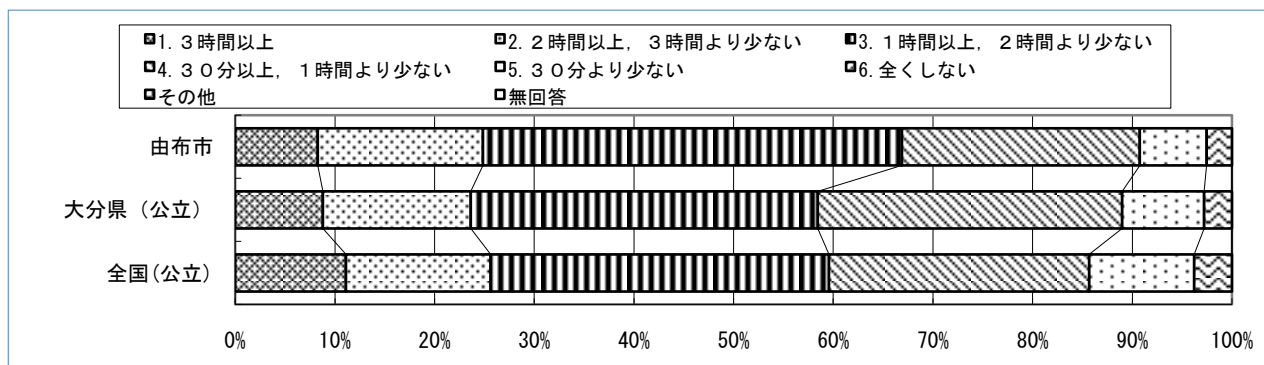
Q 4 普段（月～金）、どのくらいの時刻に寝ますか



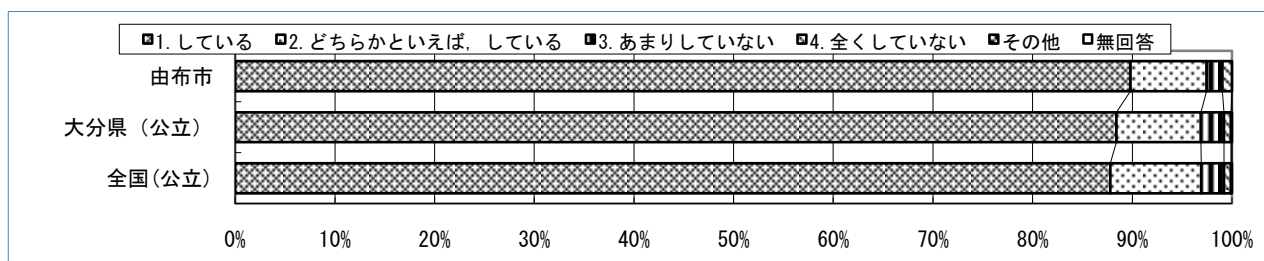
* 基本的な生活習慣は県や全国とあまり差がないようです。

② 学習習慣について

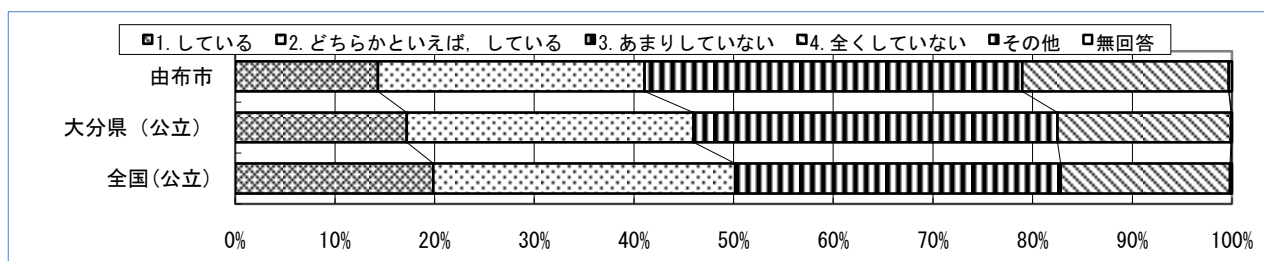
Q 5 普段（月～金）どのくらいの時間家庭学習をしますか（塾等を含む）



Q 6 家で学校の宿題をしていますか



Q 7 家で学校の授業の復習をしていますか



*家での家庭学習は、県や全国に比べても結構やっているようです。

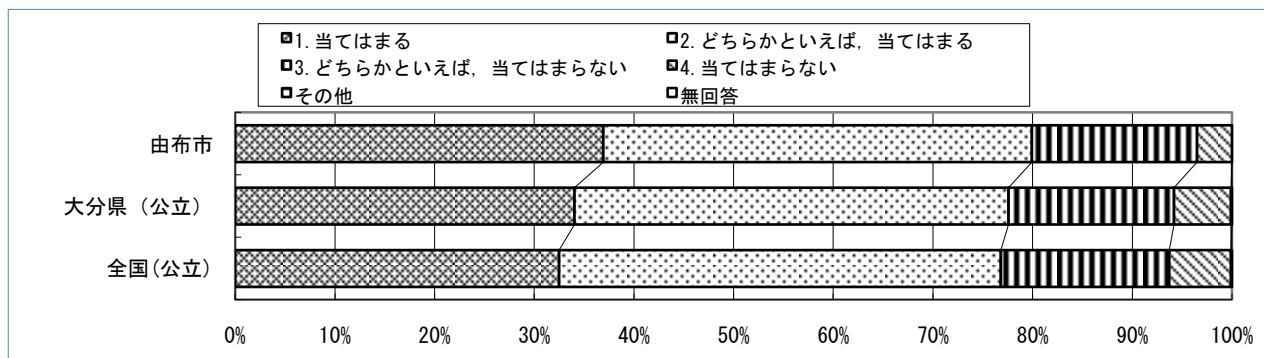
*宿題も90%の子どもがきちんとできています。

*授業の復習については県や全国に比べ、できていない子の割合が高いです。

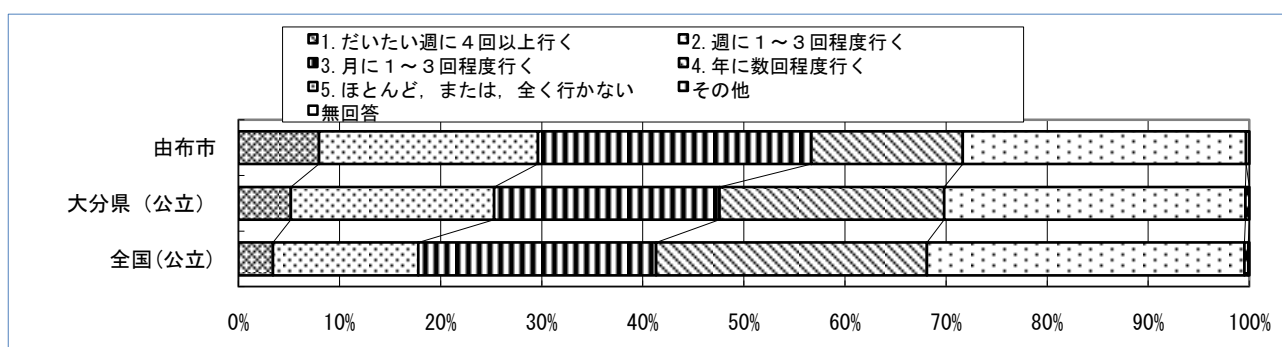
復習を行うことで、学習の定着が図れますので、授業の復習をしていくことが今後の由布市の課題となりそうです。

③ その他の特徴的な項目

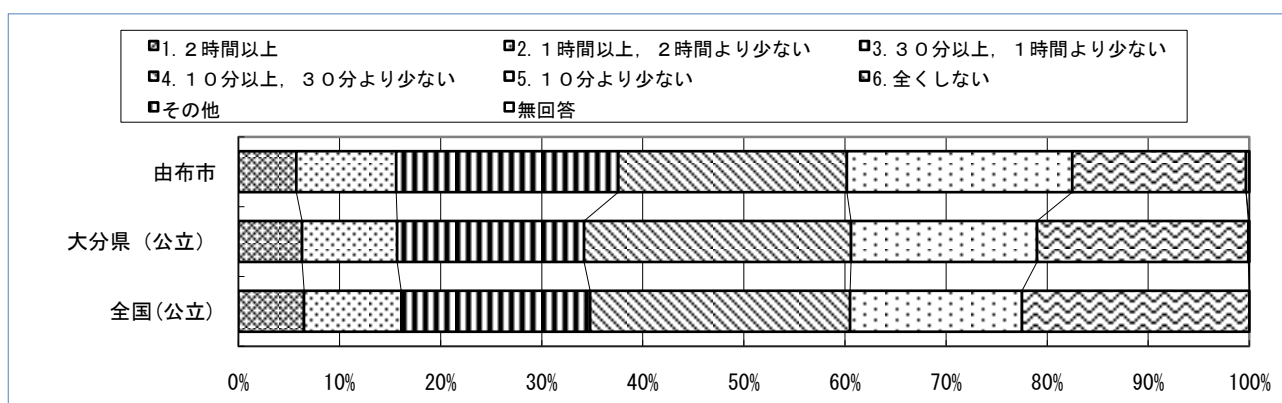
Q 8 自分には良いところがあると思いますか



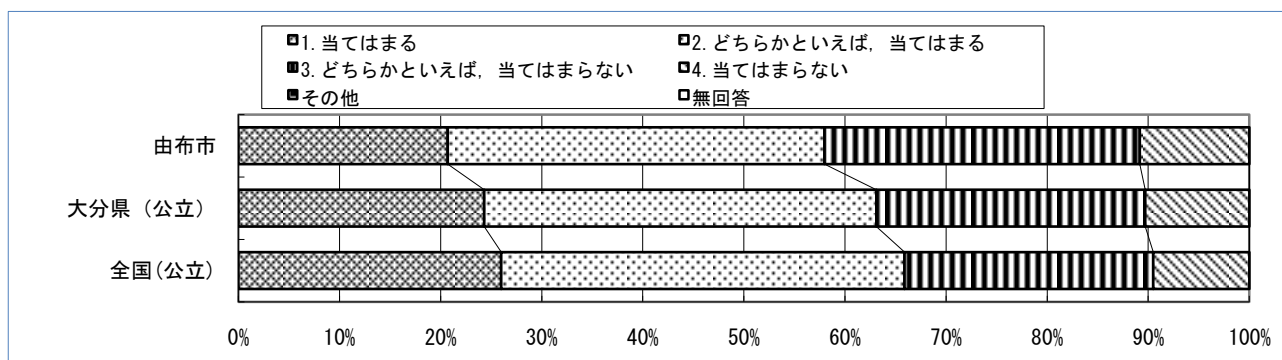
Q 9 本を読んだり、借りたりするために、学校や地域の図書館にどのくらいいきますか（漫画や雑誌をのぞく）



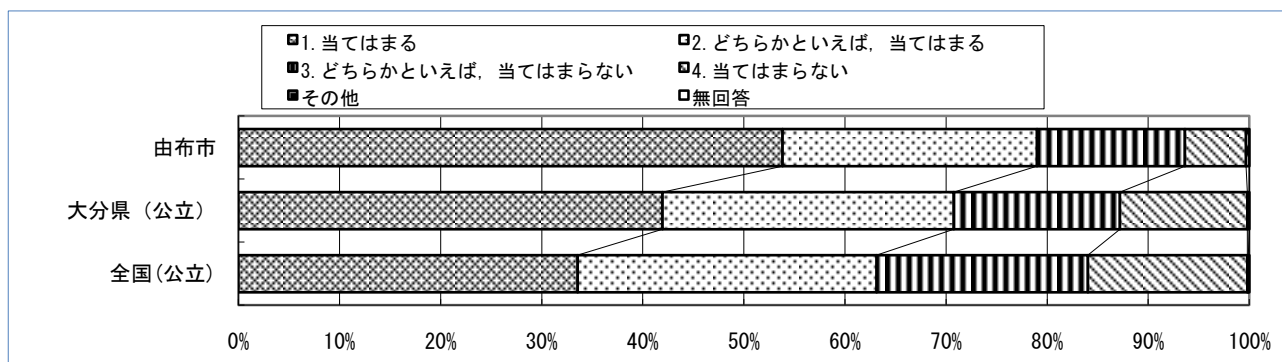
Q 10 家や図書館で、普段（月～金）1日あたりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書も参考書、漫画や雑誌をのぞく）



Q 11 新聞やテレビのニュースなどに関心がありますか



Q 12 地域の行事に参加していますか



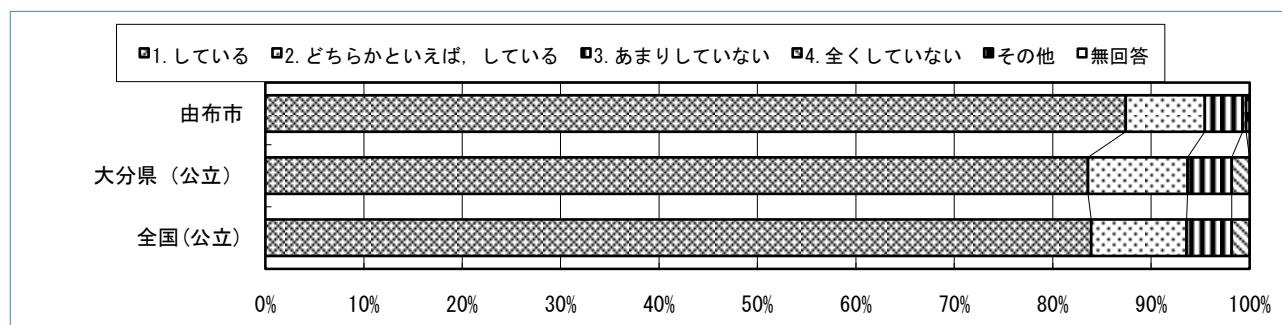
*読書は県や全国に比べ、良くする方だといえます。しかし、新聞やテレビのニュースには関心が薄いようです。

*地域の行事への参加は、県や全国に比べとても高いと言えます。

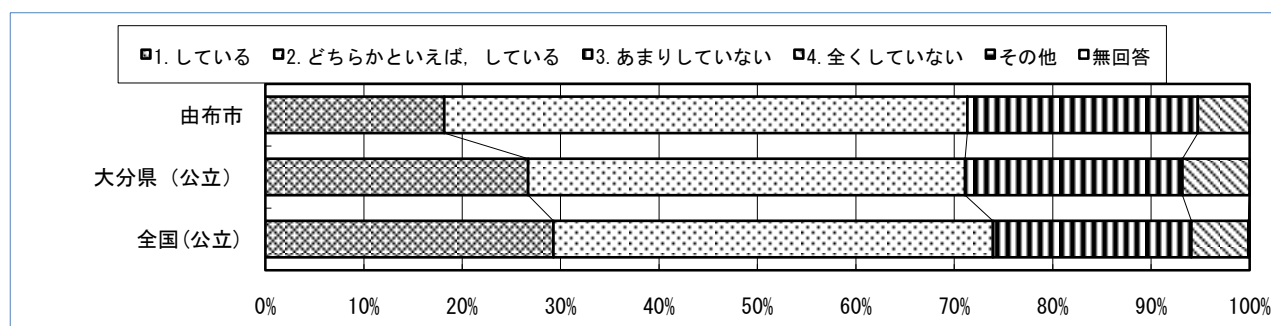
「中学校における学習習慣・生活習慣の状況」 中学校3年

① 基本的な生活習慣について

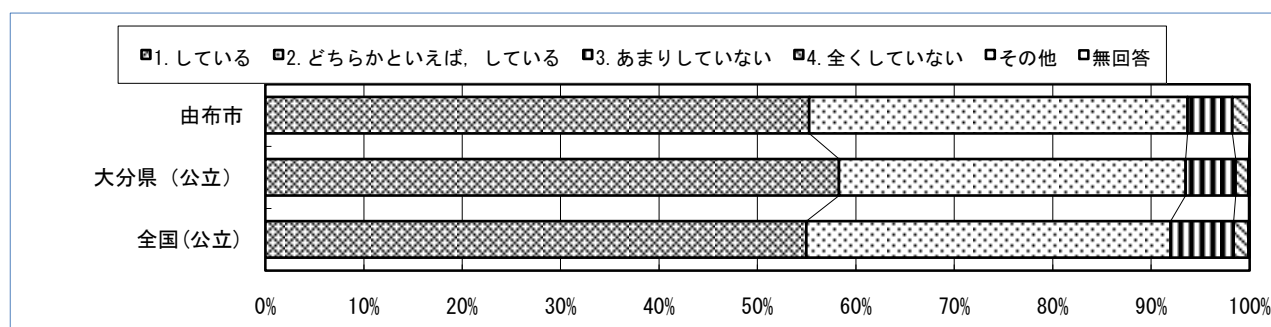
Q 1 朝食を毎日食べていますか



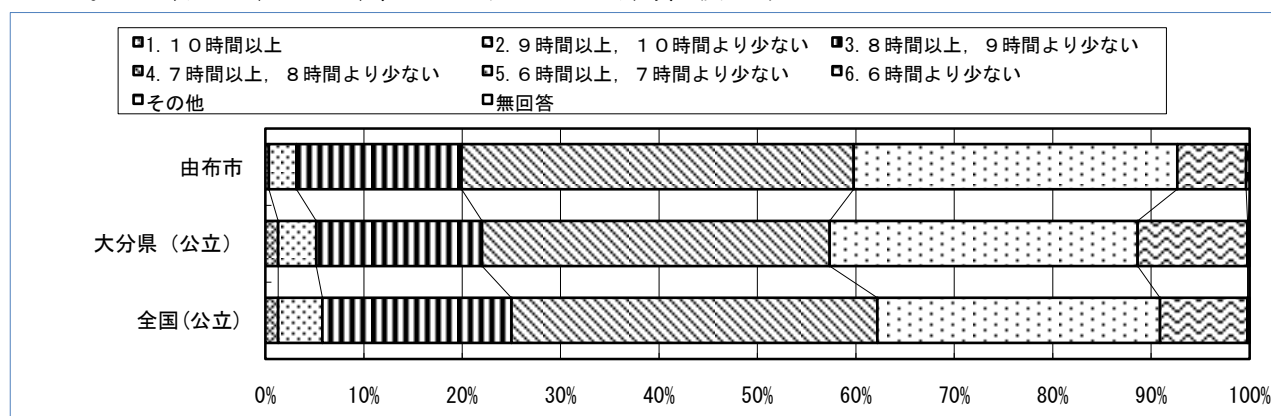
Q 2 毎日同じくらいの時刻に寝ていますか



Q 3 毎日同じくらいの時刻に起きていますか



Q 4 普段（月～金）、どのくらいの時間、寝ますか

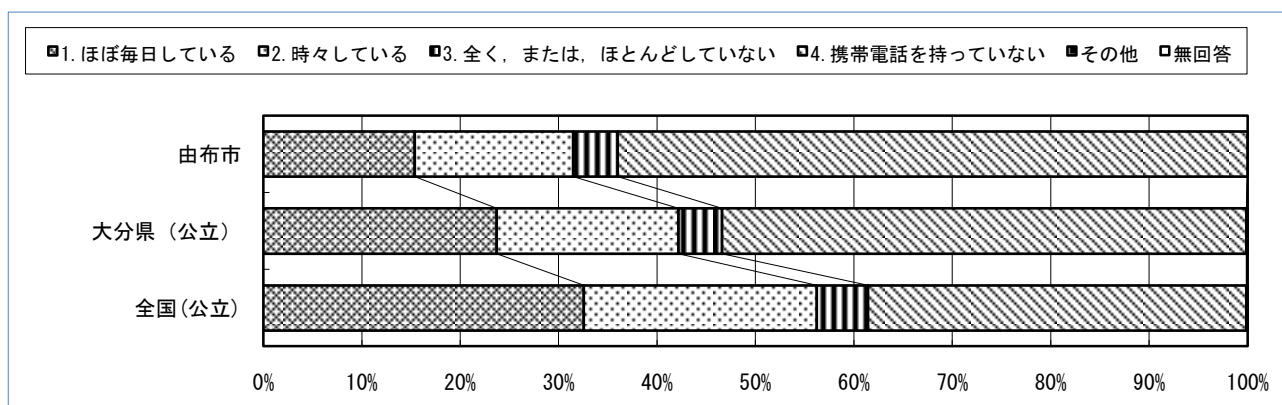


* 基本的な生活習慣は小学校と同じで、あまり変わらないようです。

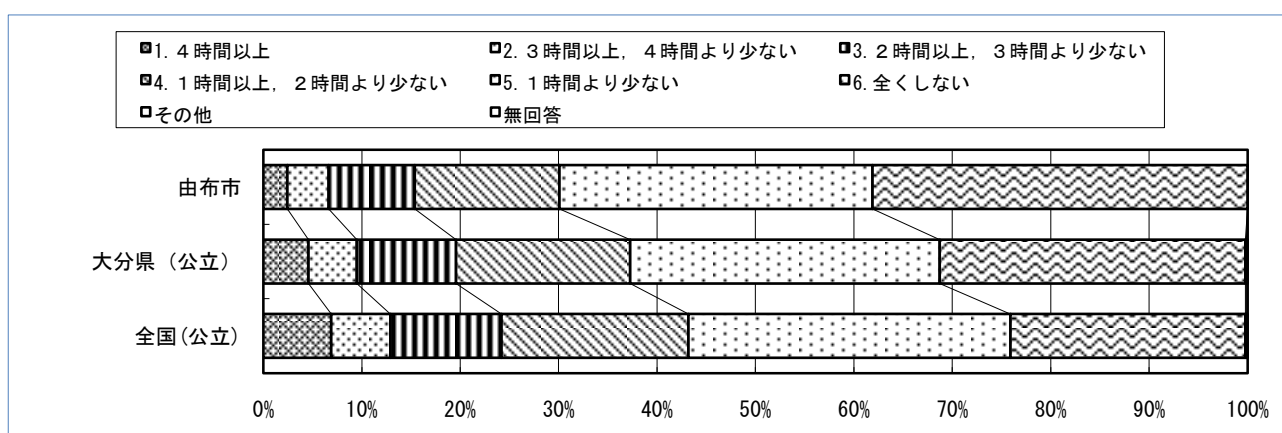
* 決められた時刻に寝ることについてのみ、いつも決まっている子の割合が低いです。このことは改善の余地がありそうです。

* 中学生なので、自分で就寝時刻を決め、それを守っていくことが必要になります。

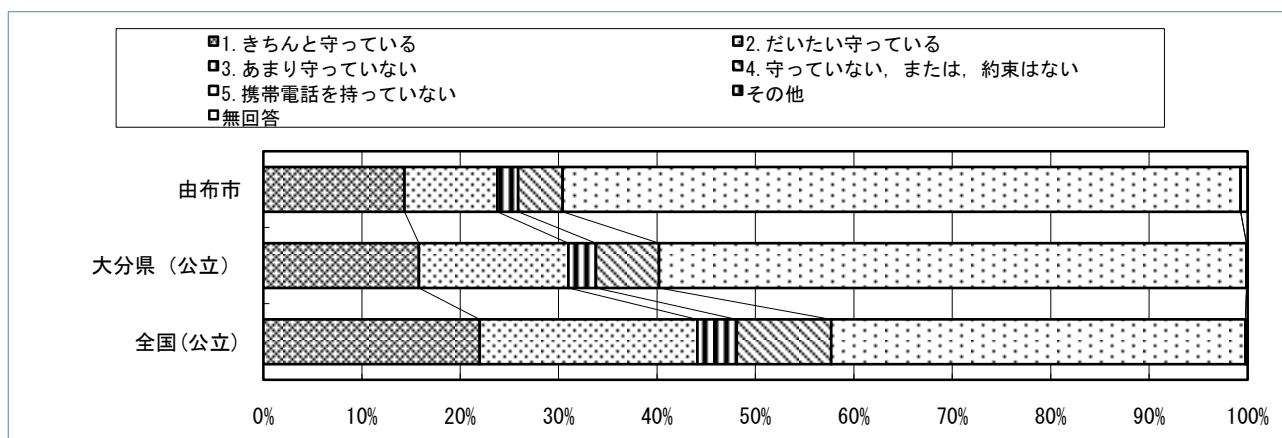
Q 5 携帯電話で通話やメールをしていますか



Q 6 普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、インターネット（携帯電話を使ったインターネット含む）をしますか



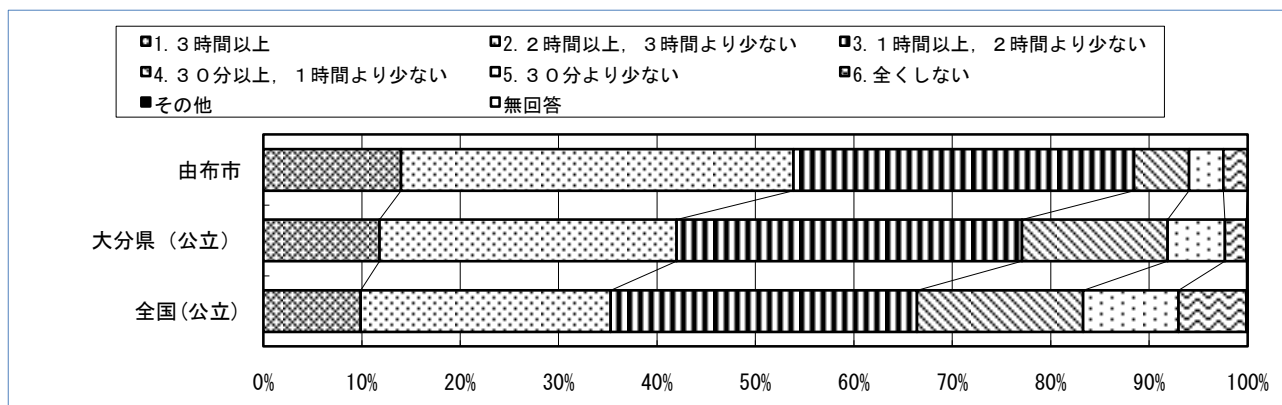
Q 7 携帯電話の使い方について、家の人と約束したことを守っていますか



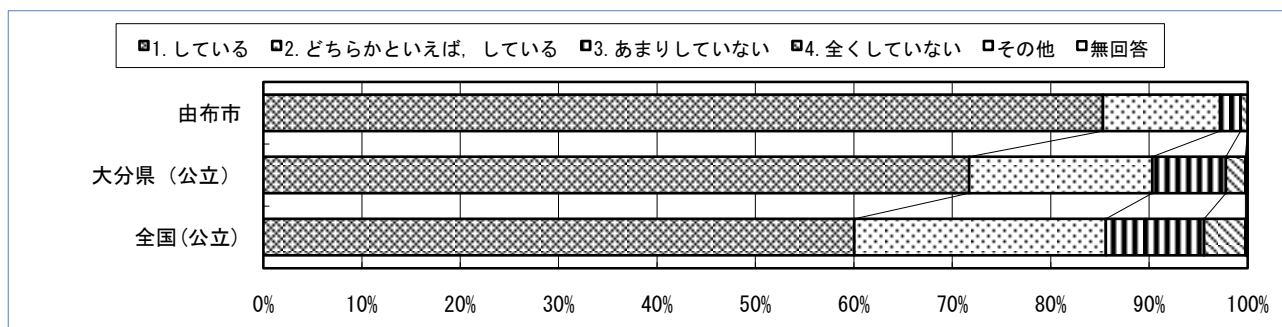
- * 携帯電話やインターネットを利用する割合も、県や全国に比べ低いといえます。
- * しかしながら、携帯電話の保有率（35%） インターネットの利用（30%）等の生徒もいますので、きちんとした指導が必要なことは間違いありません。
- * 特に問題なのは、家の人との約束をあまり守っていなかったり、約束がない子の割合が、7%程あることです。

② 学習習慣について

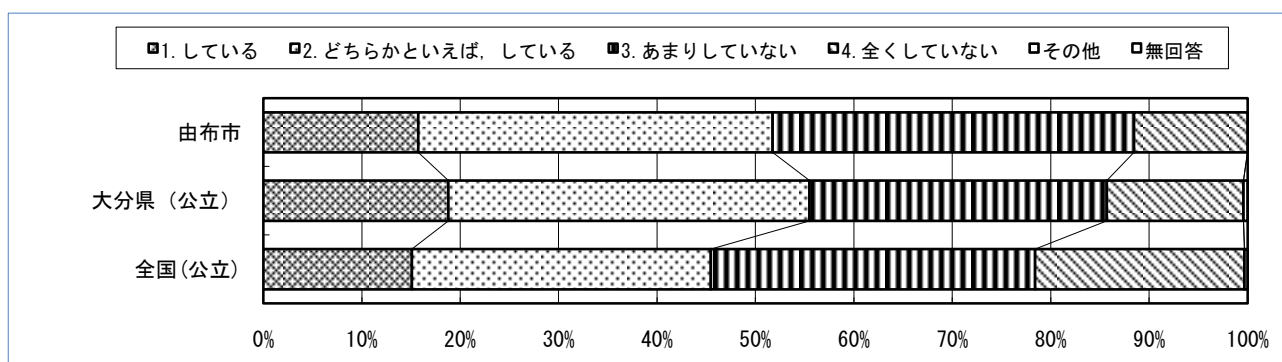
Q 8 普段（月～金）どのくらいの時間、家庭学習をしますか（塾等を含む）



Q 9 家で学校の宿題をしていますか



Q 10 家で学校の授業の復習をしていますか



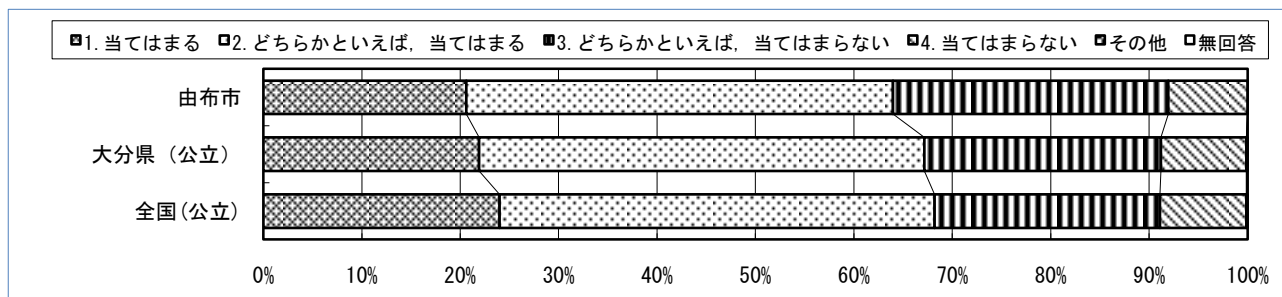
*家庭学習の状況は、県や全国に比べ良いようです。

*中学校の調査結果が良いのは、こういう点も関係があると考えられます。

*今後も、家庭学習の定着に向けて取組を続けていきたいと思います。

③ その他の特徴的な項目

Q 11 自分には良いところがあると思いますか



*否定的な回答が、県や全国に比べ多いのが気になります。今後の課題です。

3 今後の「学力向上」に向けて

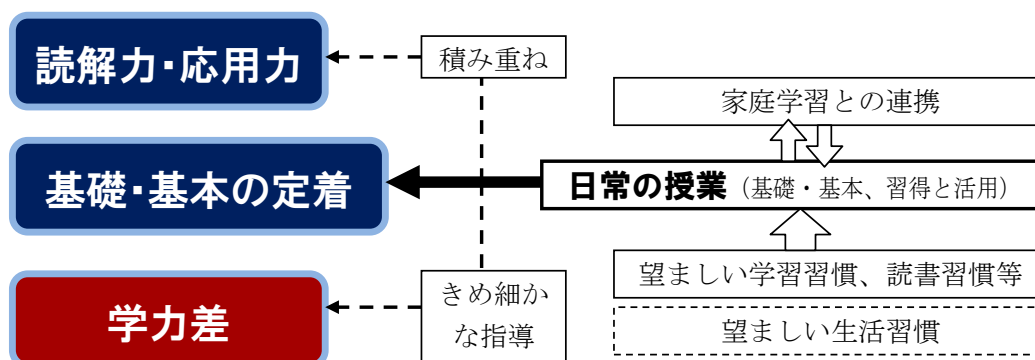
(1) 「由布市の課題」と「授業改善を中心とした学力向上に係る基本方針」

今年の結果を分析してみると、昨年度と同様の傾向がみられました。(下記4点)

- ① 小学校の国語、特に「読むこと」に課題がある。
- ② 算数は改善されつつあるが、「数量関係」に課題がある。→ **論理力**
- ③ 全体的に「**読解力**」「**応用力**」不足が課題である。→ **言語に関する能力**
- ④ **学力差**が大きい

これらの課題を克服するために、次の3点に重点を置いた取組を続けます。

- 確実な基礎・基本の定着のために、授業改善と家庭学習の充実をめざす
- 学力差に応じた「きめ細かな」指導が可能となるようにする
- 学力を支える学習習慣、読書習慣、望ましい生活習慣の確立をめざす



(2) 授業改善について

授業の改善は、市として授業のモデルを示し、それに沿って授業改善が図れるようにしていきたいと考えています。

すでに、小学校の算数についてはこの方針で授業改善を行っており、成果が着実にでております。今後は小学校の国語についても行っていく予定です。

また、中学校については3校が共同で研究を行っており、学力差の解消に組織的に取り組み始めています。

改善の視点は次の5点です。

- ① 学習（授業）規律を確立する。（特に1学期を中心に力を入れていきます。）
- ② 1時間でどんなことを学ぶのか実感できるように、「課題」が明確で「終末（まとめ）」を意識したわかりやすい授業をおこなう。
- ③ 課題に対する自分の考えを論理的に説明し、考えを伝え合う（表現する、また、表現されたものを読み取る・感じ取る）ことで、コミュニケーションを活発にした授業をする。
- ④ 学習したことを確実にするためのノート指導、構造化されて見やすい板書の工夫、補充学習（ドリル）や計画的な家庭学習の進め方等について、継続的かつ徹底した指導を行う。
- ⑤ 語彙を豊富にし、読み取りを豊かにするために読書の機会を増やし、本の話題や本の内容について、感想・意見を交流するなどの活動を充実させる。

(3) 学校（教室）における人間関係づくり

認め合い・支え合う学校（学級）集団づくりは、授業を含め、全ての学校生活の土台となります。由布市の児童・生徒は、総じて自尊感情・自己有用感が高く、困っている人を積極的に助けるなど、社会性の基礎となる重要な部分で良好な回答結果が得られました。しかし、少人数ではありますが、悩みを持っている児童・生徒がいることは事実です。

今後も、互いの立場を尊重しつつ、切磋琢磨する姿（伸びる子ども）をめざしていきます。

(4) 保護者・地域との連携

まず、日常の交流（双方向の連絡や相談等）を活発にし、風通しのよい学校づくりに努めます。その上で、学習に関わるよい習慣づくりのために、家庭学習が確実かつ円滑に進められるよう保護者ととともに子どもを励ましていきます。特に、計画的な家庭学習のためのきめ細かな指導を行っていきます。

また、地域のサポーター等を有効に活用することで、地域ぐるみで子育てを行う「協育」を推進したいと思います。

(5) 健康な身体と心

食育の推進と併せて、PTAや家庭訪問等を通じ、「食事の果たす役割」や「睡眠・食事と心身の健康」について、ともに学習する機会をもつようにします。さらに、健康を維持し、粘り強く課題に挑戦できる土台づくりをする上でも、「体力の増進」は不可欠ですので、具体的な方針を今後策定します。

また、日常の子どもとのコミュニケーションの在り方を常に点検して、心の健康を維持する取組も行う予定です。

最終的には、知・徳・体のバランスのとれた子どもの育成が目標です。
